

平成21年度全国高等学校総合体育大会バレーボール競技大会
第62回全日本バレーボール高等学校男子選手権大会
結果報告及びお礼

佐世保南高校男子バレーボール部
監督 井崎 健一郎
コーチ 下 釜 信 浩

平成21年8月28日(火)から開催されました「2009近畿まほろば総体」出場に際しましては、多くの皆様より物心両面にわたり、格別の御支援と御芳情を賜り、厚くお礼申し上げます。

我々、チームは今大会での優勝を目指して、厳しい練習に励んでまいりました。

8月28日(火)、競技に先立ち、奈良県鴻ノ池陸上競技で行われた総開会式に長崎県選手団を代表して参加し、中でも前田一誠主将は旗手を務め、選手達は、雨の中、堂々の入場行進を行いました。

8月29日(水)、予選グループ戦が、香芝市総合体育館のCコートで実施され、第4試合で北海道第二代表の札幌第一高校と対戦しました。相手は高さある攻撃やブロックが特徴のチームでしたが、序盤から佐南らしいバレーを展開することができ、1セット目25-16、2セット目25-17のストレートで勝利し、決勝トーナメント戦進出を果たしました。

8月30日(木)、1回戦は、大和郡山市総合体育館で実施され、Bコート第1試合で滋賀県代表の近江高校と対戦しました。ボールつなぎや高さスピードが持ち味のチームでしたが、1セット目25-17、2セット目27-25とレベルの高い試合をストレートで制し、2回戦進出を果たしました。

2回戦は、Bコート第3試合で地元奈良県代表の添上高校と対戦しました。地元だけに応援も大勢いましたが、1セット目25-12、2セット目25-11でストレート勝ちし、3回戦進出を決めました。

8月31日(金)、3回戦は、大和郡山市総合体育館で実施され、Aコート第4試合で埼玉県代表の埼玉栄高校と対戦しました。身長200cmの中国人留学生がメンバーに入っているスポーツの名門校でしたが、1セット目25-13、2セット目25-10とストレートで圧勝し、準々決勝戦進出を果たしました。

準々決勝戦は、Aコート第6試合で兵庫県代表の市立尼崎高校と対戦しました。昨年の埼玉総体で負けた相手であり、総合力は今大会最上位と見られていたチームだけに、全力を出し尽くすことをチーム全員で誓い、戦いに挑みました。序盤は好スタートを切れたのですが、途中、小さなミスが出て逆転され、1セット目を21-25で落としました。2セット目も中盤以後、相手ペースで試合が進み、苦しい状況が続きましたが24-24とデュースとなってからは激しい攻防戦となり、意地のぶつかり合いとなりました。しかし、30-32で落とし、敗戦となりました。

高校バレーの頂点に立つことを目指し、全国制覇、日本一達成を合い言葉に取り組んできた3年生を中心とするチャレンジが終わり、結果はベスト8ということになりました。

目標を達成できなかった悔しさは募りますが、チームのメンバー全員が本当にまとまって、最後の最後まで力を振り絞って戦ったこれまでに最も良い試合だったと思います。

今後は、それぞれが異なる目標に向かって突き進むこととなりますが、このような貴重な経験を活かし、たくましい人間に成長してくれることを願っています。

最後になりますが、これまで、たくさんの方々から激励の言葉や応援をいただき、厚く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後とも何卒、御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

